

令和3年度 第3回岡崎市地域福祉計画推進委員会議事録

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催としました。

日 時 令和4年2月18日(金)(書面回答期限)

開催方法 書面開催

出席委員 長岩委員、大堀委員、長坂秀志委員、水野委員、前田委員、長坂宏委員、茂刈委員、加賀委員、木全委員、鈴木委員、杉山委員、本田委員、加藤委員、檀委員

欠席委員 野尻委員、蜂須賀委員

1 議 事

- (1) 第4次岡崎市地域福祉計画(実践編)について
- (2) 第4次岡崎市地域福祉計画(施策編)について

2 送付資料

- (1) 資料1 第4次岡崎市地域福祉計画(実践編)【案】
- (2) 資料2 第4次岡崎市地域福祉計画(施策編)【案】

3 議事に関する意見

- (1) 資料1〔賛成14、反対0〕

- ・統計データについて、「少なくなっている」「高くなっている」など分析の表記がなされている。それは以前と比較してという表現であるので、比較データがない場合、その言い回しは不自然に感じます。(長岩委員)
- ・学区別計画について、学区によりレベル差があるので適切なフォローをしていく必要がある。(長坂秀志委員)
- ・各学区考えてその学区に合った計画を立てているように見受けられます。実現されることで福祉の理解が深まり楽しく暮らせる地域になるかと思います。(加賀委員)
- ・統計データについて、西暦のみ、又は和暦のみで表示されている項目がある。西暦(和暦)和暦(西暦)とするなど付記した方がよいのでは。また、事例紹介については、わかりやすく説明されている。(木全委員)
- ・統計データからは、支援を必要とする人が増えているにもかかわらず若年層の無関心や社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカーなどの知名度が低いという現状が見て取れる。住民同士で支えあう地域づくりを推奨するうえで、計画の実行状況

- を鑑みて必要な支援をしていただければ。 (鈴木委員)
- ・各学区の活動とタイムリーなサポートに期待します。 (杉山委員)
- ・コロナ禍において取組や活動が制限されてきた。今後終息しても元に戻らないと思われる。地域や住民のニーズに合わせた取組を求める。 (加藤委員)
- ・第3次計画であったような概要版冊子の作成をお願いします。 (壇委員)

(2) 資料2〔賛成14、反対0〕

- ・計画随所に「意思表示・意思決定」という表記がある「意思決定」の方が根源的であるので「意思決定・意思表示」という順序で表記した方が適切ではないか。 (長岩委員)
- ・各方面から多様な意見を聞いたうえでの行政の基本目標設定と多様な主体の活動主体の支援をお願いします。 (加賀委員)
- ・用語説明に「ノーマライゼーション」も追加してみてもどうか。 (木全委員)
- ・重層的支援体制整において、行政の縦割り体制の是正が一定の評価に値する。今後、一層コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターの役割が大きく専門性を備えた人材確保を期待しています。 (鈴木委員)
- ・支援が必要な市民に確実に届くようなシステムが必要。困っている人が必要な情報を早く引き出せるようになるとよいと思う。 (加藤委員)
- ・資料1の意見に同じ (壇委員)

6名の委員から意見なしとのご回答をいただきました。